

NEWS RELEASE

報道機関各位



学校法人尚綱学園
熊本市中央区九品寺2丁目6-78
TEL 096-364-0116

2024年 8月 1日

【 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 】

尚綱大学短期大学部公開講座

第37回 サマーセミナー 8月3日(土)開催

尚綱大学短期大学部では、幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・施設等で働く方々を対象として、第37回サマーセミナーを下記のとおり開催します。

今回は、日々の保育の悩みを解消すると同時に保育が楽しくなるような6講座をご準備しました。夏の研修の一つとして、教員・保育者の方々の参加を予定しております。

記

- 日時：令和6年8月3日（土）13時30分～15時30分
（15時30分～16時30分オフィスアワー）
- 場所：尚綱大学・尚綱大学短期大学部 武蔵ヶ丘キャンパス
（熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1）
- 内容：全6講座
 - ①ステンシル（型抜き版画）でカードづくり
 - ②「明日の保育がちょっとだけ楽しみになる」プロジェクト
 - ③子ども達が目を輝かせて喜ぶ楽器作りをしてみませんか？
 - ④「安全な保育とは？」～現場の思いを語り合おう！～
 - ⑤遊びのなかで、ICT活用を体験しよう！
 - ⑥「気になる子どもたちの小学校移行支援」
～ある児童発達支援事業所の移行支援プログラムと園・家庭の連携～

※送付資料 3枚（本紙を含む）

【本件に関わる問い合わせ先】

担当部署： 尚綱大学・尚綱大学短期大学部
武蔵ヶ丘キャンパス事務部庶務会計課
担当者名：松本敏昭、松本有加
電話：096-338-8840
e-mail：shomun@shokei-gakuen.ac.jp

第37回

尚綱大学短期大学部幼児教育学科

尚綱大学短期大学部公開講座

サマーセミナー

今年度も、**幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・施設等で働く方々**を対象として、日々の保育の悩みを解消し、また日々の保育が楽しくなるような6講座を準備しました。**夏の研修の一つ**として、多くの皆様にご参加いただきますよう心よりお待ちしております。

日時

2024(令和6)年

8月3日 **土** 13:30-15:30

(15:30-16:30 オフィスアワー)

【場 所】尚綱大学短期大学部 武蔵ヶ丘キャンパス
熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1

【参加費】 1,000円(当日受け付けます)

① ステンシル(型抜き版画)で カードづくり

講師：坂本 健(幼児教育学科)

④ 「安全な保育とは？」 ～現場の思いを語り合おう！～

講師：岩永 留美 (上天草看護専門学校)
草野 舞 (幼児教育学科)

② 「明日の保育がちょっとだけ 楽しみになる」プロジェクト

講師：中ノ子 寿子 (幼児教育学科)
橋口 菜津美 (くほんじこども園)

⑤ 遊びのなかで、 ICT活用を体験しよう！

講師：中村 佐里(こども教育学部)

③ 子ども達が目を輝かせて喜ぶ 楽器作りをしてみませんか？

講師：森 みゆぎ(こども教育学部)

⑥ 「気になる子どもたちの 小学校移行支援」

講師：佐澤 智恵子(療育スーパーバイザー・臨床発達心理士)
矢野 孝 (児童発達支援事業所アロッド)

【お問合せ先】

尚綱大学短期大学部武蔵ヶ丘キャンパス庶務会計課

電話：096-338-8840

Email：shomun@shokei-gakuen.ac.jp

参加お申し込みはこちらの
QRコードからお願いします。
申し込み期限 7月31日(水)





第37回サマーセミナー 各講座ご案内

6講座

8月3日(土) 13:30-15:30

①ステンシル(型抜き版画)でカードづくり

植物や動物等が描かれたイラストやイラスト化されたアルファベット・数字の形を配りますので、好きなものを選んで切り抜き、型を作ります。そして、その型を使ってポストカードに絵の具をこすりつけていくと簡単にイラストを描くことができます。かわいいメッセージカードを作ってみましょう！

②「明日の保育がちょっとだけ楽しみになる」プロジェクト

保育者をしていると、保育や子どもといるのが楽しい時、やりがいを感じる時がある一方で、苦しい時や迷う時もあるかと思えます。この講座では、参加者それぞれの保育者としての喜びや悩みを共有し、でてきた課題についてみんなで考えていきます。何かを勉強しにくるというより、色々な園の先生と保育や子どもについておしゃべりをしにくる気持ちで参加してほしいなと思えます。この講座を通して、「明日の保育がちょっとだけ楽しみになる」ことが目標です！

③子ども達が目を輝かせて喜ぶ楽器作りをしてみませんか？

こんなに簡単に、こんなに面白い音が出るの？という楽器を作ります。この楽器を作ったら、きっと「誰かに教えたいな」はずです。そんな楽器を作って、まずは一緒に楽しみ、保育現場に持ち帰ってほしいなあとと思えます。

④「安全な保育とは？」～現場の思いを語り合おう！～

子どもたちの成長・発達過程で生じる保育現場でのケガや病気は、ゼロにすることはできないものです。けいれん、頭部打撲、アレルギー、食事中の喉つまり、午睡中の事故等々、皆さん方の中には安全な保育が出来ていないのではと悩んだり、不安になることもあるかと思えます。そこで、どのような出来事が現場での迷いや不安となっているのか、気軽に本音で語り合う機会にしたいと思えます。さらに、いくつかの事例報告を行い予防と対応について検討します。また一歩、安全な保育に近づくためのヒントが見えてくるかもしれません。

⑤遊びのなかで、ICT活用を体験しよう！

最近レストランでロボットが働いている姿をよく目にするようになり、AI(人工知能)を仕事に使うといった方も増えていきます。ICTが当たり前となり、私たちの生活を便利にしています。これからの子どもたちには、新しい技術を使って、自分や社会が抱える問題を解決できる力が必要です。そのためには、幼児期から遊びや活動を通じて、ICTを活用するための力を少しずつ育てていくことが重要です。サマーセミナーでは、「プログラミング」をテーマに、タブレットを使った保育はもちろん、普通の遊びに取り入れやすい実践を紹介します。保育のなかでのICTをぜひ体験してみてくださいね！

⑥「気になる子どもたちの小学校移行支援」

～ある児童発達支援事業所の移行支援プログラムと園・家庭の連携～

幼保園から小学校への移行は、アプローチプログラム、スタートプログラムと呼ばれて計画的なカリキュラムの模索が続いています。まして「気になる子どもたち」の移行は、その後の教育の成果を左右するほどの可能性、あるいはリスクを孕んでいるかもしれません。今回は、ある児童発達支援事業所の10年来の移行支援プログラムをたたき台に、園や家庭とのさらなる連携をめざした検討を行いたいと思えます。ご一緒に今と未来を繋ぐヒントを探しましょう！

<お知らせ> オフィスアワー 15:30-16:30

卒業生の方は、久しぶりの母校で懐かしく思われることでしょう。教員は研究室であなたを待っています。どうぞ遠慮せず訪ねてください。

また、本学の卒業生以外の方も大歓迎です。日頃から課題に思っていることや保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合しましょう。

【各教員研究室】1号館：森 2号館：増淵・坂本・片桐・草野・中ノ子 体育館：柿原